

乙訓から世界へ発信

長岡天満宮や柳谷観音楊谷寺といった、乙訓地域を代表する寺社の庭園管理を任されている庭師・梅野星歩さん。1000年を超える歴史を刻む場であり、同時に、今、この地域に暮らす人たちの憩いの場という、地域の宝の「守り人」です。

地に足をどっしりつけながらも、軽やかに空に向かって枝を伸ばす樹のような大きな人に、コロナ禍で不安な空気を蹴散らしもらえるお話を伺ってきました。

庭師 梅鉢園代表
梅野 星歩さん

写真提供 梅鉢園

庭師とは何か

「まずは…」と案内されたのは、天神さんの本殿へ上がっていく階段脇。ほんのりと木の香りが残るその場所にあったのは、大きなクスノキの切り株。樹齢100年にもなるかという巨木を、先週伐採したといます。樹木が持つ独特の芳香に、切り倒されてもおそこに生き続けているかのような不思議な力を感じていました。

「自分が生きてきた年数よりも、ずっと長い年月を生きるのが樹木です。そして、この先も、自分たちよりも、もっともっと長く生き続けるのも樹。そういう営々と続く歴史の中で、『今』を託されているということを常に意識しながら仕事をする、それが庭師なんです」と。

雄弁です。そして、熱い。出会って、ほんの数分で、庭師・梅野星歩の世界に引き込まれていきます。

梅野さんが手がける庭は、個人宅のごく小さな庭から地域のランドマークともいえる歴史ある寺社の庭園まで、実に様々です。メンテナンスに費用も時間もかかる庭は、今の時代は贅沢品。ましてや庭師に施工・管理を任そうという人は、正直多くはないのかもしれませんが。だからこそ、「ご縁をいただいた庭」への思いは熱く、その大きい、小さいではなく、どの現場でも「恩返し」との思いで、全力投球していると笑います。

例えば、「もう歳もとったし管理がたいへんだから」と相談を受ければ、困っていることを聞き取るだけでなく、庭での家族の思い出話もじっくり聴きます。そうして、雑草から解放されるようにコンクリートや石を多用しつつも、思い出のある樹や庭石を活かす庭づくりをしていきます。一方、長い歴史を持つ寺社の庭園は、いつまでも美しく存在し続けるために、肥料を与え、

害虫の駆除をし、枝をはらうという日々の地道な作業を担うことはもちろんですが、守るだけに留まらず、今の時代を生きる施主の「思い」を引き出し、具現化していくことが自分の役割だと梅野さんは言います。

「施主様は、ほんやりとしているけれど、心の中に『こうしたい』を持っているんです。それを汲み取って、庭師である自分のフィルターを通してアウトプットしています。庭師というのは職人であると同時に、クリエイターなのだと思います」と。

庭師という仕事への誇りが、言葉の端々から溢れ出るようです。

偶然か必然か…庭師・梅野星歩の誕生

京都市内に円山公園や無鄰菴といった数々の名園を残している小川治兵衛は、たしか「七代目小川治兵衛」。造園業が「庭師」という特別な文化人としての地位を確立している京都では、代々の家業を継いで…というものなのだと思います。乙訓地域の有名な寺社を任されている梅鉢園さんですから、さぞかし歴史は長いのだろうと思い「何代目ですか?」と何うと、なんと初代! 農業の先生だったというおじい様の影響で、土や植物とは近い環境にはいたといいますが、造園とは全く無縁な家庭に育たれています。逆にいえば、京都という土地で、歴代という後ろ盾なく長い歴史を経た名庭を任されるまでに信頼を得ることは、至難だったのではと推察します。梅野さんを、「庭師・梅野星歩」へと導いたものは何だったのでしょうか。

「16歳の時に母を亡くしました。人の命って何だろう?とか、人生ってなんだらう?とか、考えてしまったんですね。その頃、長法寺の田村家住宅



長岡天満宮 梅の木の前で

(※国の登録有形文化財に登録されている長岡京市長法寺にある旧医家)や楊谷寺さんに行って、よく庭を眺めていました。漠然とですが、庭はいいなあと、思ったのかなあ。じゃあ、高校卒業したら、庭の勉強してみようかと、九州にある造園を学べる大学に進学しました」

人生の大きな試練の時に、庭と出会い、進むべき道を示された梅野さん。「漠然と」とは言うものの、そこには「何かに導かれた」との思いがあるのだろうかと思っていると、こう言葉を続けました。

「たくさんの選択肢がある中で、この仕事を選んだ、そこに意味があると思いますし、意義を考えていきたいですね。仕事は楽しいですが、苦しみも多いです。ここでいいやという満足感を感じることはなく、いつもどこかに宿題をもらいます」。

インタビューの最後にカメラを向けると、梅鉢園と染め抜かれた法被を羽織り、キリッとポーズを決める梅野さんがいました。オーラがあります。This is the庭師! 梅野さんが庭師になられたのは、偶然ではなく必然だったのだろうと確信しました。



2018年の台風の爪痕。大きな被害を受けた天神さん。

残るべくして残るものを造りたい 新たな挑戦

京都文化財マネージャーや京都景観エリアマネージャーといった肩書も持つ梅野さん。これらはどちらも京都という貴重な歴史的建造物が残り、日本の伝統文化が息づいているまちにあって、それを守り、後世に伝えるために「専門知識を持ち、発信していく人」に与えられる証です。ネットで紹介されている京都景観エリアマネージャーの育成プログラム「京都景観エリアマネジメント講座」を覗いてみると、建築や景観デザイン、さらには政策や法律までも、じっくりと学び、多彩なメンバーとフィールドワークをするという、本格的でハードなプログラムでした。

「今は、時代の転換期にきていると思うんです。京都では文化として先人たちが残してきた庭園も、色々な意味で危機的な状況にあります。2018年は巨大な台風の被害を京都は受けました。長岡天満宮も楊谷寺も被害はたいへんなものでした。樹木の寿命もあり、維持管理していくことが難しい。古いというだけで残せる時代ではありません。いつの時代にも通用する普遍的な価値を見出せるかですし、今生きている人の思いを昇華できるものを創ってイけるかが問われます。京都の文化を守ろうという信念を持つ人たちと交流することで、何かが生まれるのではないかと考えています」。



長岡天満宮のクスノキを伐採。樹齢100年ともなるとこの巨木。職人としての腕が試される危険な作業です。



写真上)NY日系人会館での講演会。タイトルは「挑戦」。庭師の魂を伝えました。写真左)NY、グランドセントラル駅にて。

新たな挑戦への思いを語る梅野さんのフィールドは、乙訓から京都、そして、世界へと広がっていきます。昨年9月、日本の庭園文化の魅力を世界に伝えるために、ニューヨークでの講演会に招聘された梅野さん。色々な意味で、転機となったようです。

ニューヨークでは、あらためて、日本の伝統・文化への世界からの注目度の高さを実感するとともに、庭園が持つ普遍的な美しさは言葉なしでも伝わることに感動したといいます。そして、この地で、公園の在り方を考えさせられる2つの場所にも出会ったのだと。

一つは、ブライアント・パーク。ニューヨーク市マンハッタン区にある広大な公園で、タイムズスクエアとグランド・セントラル駅の間に位置し、オフィスビルに囲まれた中で緑豊かな美しい公園です。梅野さんが訪れたのは平日の10時頃。オンビジネスなこの時間に、たくさんの方がパソコンを持ちだし仕事をしていたり、語らっていたり、読書をしていたり…。「公園が生活に密着しているんです。驚きましたし、嫉妬を感じましたね。公園を人が集う場所にしていって、それが公園の役割のひとつだと教えられました」。

さらに、もう1か所は、グランド・ゼロ。2001年9月11日に起きた同時多発テロにより、飛行機が激突し倒壊した旧ワールド・トレード・センターの跡地で

す。今、ここは、国営の追悼博物館「911メモリアルミュージアム」ができ、犠牲者の名前が刻まれた慰霊碑も建てられ、祈りの場所となっています。梅野さんは、この場に立ち、「世界で起きていることに無関心ではいけない」と深く考え込んだのだといいます。

今いる場所に安穏とせず、アンテナを高く掲げ、クリエイターとしての庭師の可能性を広げることに迷いが無い、梅野さんが語る熱気に圧倒させられっぱなしでした。



四條河原町で話題の新しい複合ビル「GOOD NATURE STATION」。コスメのお店のディスプレイを施工。「版築」という、砂や粘土などを混ぜたものを型枠の中に流し込み固めて作る。オシャレな空間になじんでいます。

新型コロナウイルスが猛威をふるい、今年の春は「自粛」の一色になりました。例年は、2月の梅に始まり、桜が咲き、キリシマツツジの鮮やかな赤い花で埋め尽くされる天満宮で春を存分に楽しめば、梅雨の楊谷寺では、艶やかに咲き誇る5000株ともいう紫陽花が楽しませてくれ、心浮き立つ季節の到来です。花を愛でることすら制限されてしまった世界は寂しい限り。しかし、こんな時も、梅野さん率いる梅鉢園の庭師たちは、しっかりメンテナンスし、秋の紅葉、そして、来春の花の便りを届けてくれるはず。その日を楽しみに、待ちましょう。

(松野 敬子)

<インフォメーション>

庭造り 株式会社梅鉢園

長岡京市天神4丁目13番6号 ☎075-955-2281

e-mail info@umebachien.jp HP http://umebachien.jp

おとくに
2020
毎株



おとくに
毎株

Vol.16
2020 June

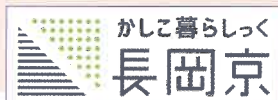
おとくに
Social And Non Profit Otokuni

おとくに
Sanpo!

2020 春夏合併号
<TAKE FREE>

●発行日 2020年6月10日 ●発行元 おとくにネットワークとる和 代表 竹内 良和 ●発行責任者 松野 敬子
●〒617-0002京都市向日市寺戸町飛龍11-10 E-Mail otokunijikan@gmail.com http://www.otokuninet.com
本紙記事の無断転用を固く禁じます。掲載した情報は2020年5月現在のものです。

長岡京市営
長岡京駅西駐車場



観光・イベントなどのお出掛けは
パーク&ライドが便利!!

お得!

大好評サービス!

京都観光の入館チケットや
レシート又は当日写真等ご提示で

当日1日上限

1,500円が
900円!!

【お手続き方法】

京都観光の入場券orレシートorスマホの写真(日付が当日のものとなるもの)を
お帰りの際、市長長岡京西駐車場の2階受付でご提示下さい。ご使用は当日限りです。

さらにお得な回数券
一回あたり **800円**
(1セット5枚入り 4,000円)

パーク&ライドお得情報!

当駐車場に駐車され、「京都タカシマヤ」・「ジェイアール京都伊勢丹」・「大丸京都店」にて5,000円(税込)以上をお買い上げの方に、各店のサービスが受けられます。

【店舗とサービス】※各店5,000円以上(税込)のお買い上げをいただいた場合(※商品券・ギフト券類のご購入は除く)

▶ 京都タカシマヤ
終日無料駐車券プレゼント!

▶ ジェイアール京都伊勢丹 ▶ 大丸京都店
4時間有効パーク&ライドサービス券プレゼント!

各店舗でレシートと当駐車場の駐車券をご提示いただき、パーク&ライド券をお受け取りください。お帰りの際、当駐車場2階窓口にて駐車券とパーク&ライド取扱券をお持ちください。各サービスのお手続きをいたします。 ※なお、ご使用は当日限りです。 ※パーク&ライド取扱券を紛失された場合、本お取扱いはできませんのでご注意ください。